

施策	6301 魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	観光客							
施策が目指す姿	観光交流・レクリエーション拠点の整備・充実、多彩なイベント等の開催支援、拠点施設の適切な維持・管理、観光地としての知名度の向上を図る。							
成果指標	観光客の満足度率（再訪問の意思）現状値 86.7% H29年度目標値 90%							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [ % ]	予定	86.70	87.50	88.00	89.00	90.00	
		実績			75.20			
	成果指標2 [ ]	予定						
		実績						
	成果指標3 [ ]	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 [ ]	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	255,105	279,480	276,312	283,041	313,692	
実績		261,061	289,144	287,911	316,863	444,584		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「観光客入込数」を向上させるためには、観光地としての魅力ある拠点づくりが不可欠であるため、本単位施策の貢献度は高い。						
	達成状況	各事務事業は適正に行われている。今年度は栃木市観光まちづくり推進連絡会議において観光客満足度の向上について検討するとともに、地域ワーキンググループを設置した。						
	課題	地域ワーキンググループを中心に、観光客の満足度を向上させるべく、観光関係者・住民・行政など、地域が一体となって観光振興に取り組む体制を整える必要がある。						
	取組方針	各事業における連絡・調整・検討の体制を強化し、関係者全員で観光資源の発掘・磨き上げを行い、SNS等を活用し実施状況を広く周知し、地域全体で誘客促進を図る。						
外 部 評 価	本施策の成果指標である観光客の満足度については、計画期間で1度だけの調査となり、結果も未達となった。次期計画では新たな指標が設定されたが、観光客の満足度は本市の観光振興を図る上で重要な指標であると思われるため、毎年度調査できる工夫を図られたい。 内部評価のとおり、地域が一体となった誘客の促進は理解できるが、具体的な取組みや成果について、次回の内部評価で示されるようお願いしたい。特に観光地としての美化については、地域と一体となった取組みが必要だと思われるため、具体的な取組みを検討願います。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	310501	観光資源開発活動補助金				17,658	100	
	310502	観光資源開発活動補助金（大平）				2,909	100	
	310503	観光資源開発活動補助金（藤岡）				2,200	100	
	310504	観光資源開発活動補助金（都賀）				4,850	100	
	310506	観光資源開発活動補助金（岩舟）				2,850	100	
	312901	キューピクルカバー製作設置委託費				4,990	100	
	313302	観光行事負担金（大平）				12,900	100	
	313303	観光行事負担金（藤岡）				11,425	100	
	313305	観光行事負担金（西方）				5,700	100	
	313406	観光行事補助金（岩舟）				6,700	100	



## 平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	6301 魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成		
区分	妥当性	妥当	イベント開催の支援、観光施設の管理等を適切に行い、観光地としての魅力を向上させるため必要な事業であり、実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業実施後の成果や効果を検証することで、適正なコストの再確認を行う必要がある。
	受益者負担	適正	施設の維持管理に係る費用や各種イベントに係る支援など、受益者負担は適正である。
	上位貢献度	有効	「観光客入込数」向上のための貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	他に類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	地域が一体となって観光振興に取り組むことにより、更なる成果向上が見込まれる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	上位施策「観光レクリエーションの振興」の目標指標「観光客入込数」を向上させるためには、観光地としての魅力ある拠点づくりが不可欠であるため、本単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	各事務事業は適正に行われている。今年度は栃木市観光まちづくり推進連絡会議において、観光客満足度向上等についての検討が行われるとともに、大平・藤岡・岩舟地域に地域ワーキンググループを設置し、地域の観光資源の再発見や、磨き上げ等の検討が行われた。	
	課題	地域ワーキンググループを継続して開催し、観光関係者・住民・行政など、地域が一体となって観光客の満足度を向上させる観光振興に取り組む体制を整備していく必要がある。	
	取組方針	市内全域に地域ワーキンググループを設置し、地域各事業の計画の段階から実施に至るまで、連絡・調整・検討の体制を強化し、関係者全員が観光資源の発掘や磨き上げに関わることができるようにする。また、事業実施状況を広く周知することで、地域全体で誘客促進を図る体制を整える。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	上位施策「観光レクリエーションの振興」の目標指標「観光客入込数」を向上させるためには、観光地としての魅力ある拠点づくりが不可欠であるため、本単位施策の貢献度は高い。	
	達成状況	各事務事業は適正に行われている。各事業における観光客満足度を調査するため、平成27年度にアンケート調査を実施し、以後調査結果を踏まえ、各事業において観光客満足度をさらに向上すべく、検討がなされた。	
	課題	観光客の満足度を向上させるためには、観光関係者だけでなく、地元住民や行政も含めた地域が一体となって観光振興に取り組む必要がある。	
	取組方針	各事業の計画の段階から実施に至るまで、連絡・調整・検討の体制を強化し、関係者全員が観光資源の発掘や磨き上げに関わることができるようにする。また、事業実施状況を広く周知することで、地域全体で誘客促進を図る体制を整える。	